

【概要・目標】

看護管理に関する基礎理論・概念を体系的に学びながらも、それらが看護サービス提供システム上の現実の問題の解釈や解決のためにいかに適用可能であるかを、実際の事例に即して検討することに重点を置く。これらを通して、看護の質評価や質改善、安全管理、多職種との協働・調整について理解を深めると同時に、現実の看護管理問題解決の為の応用能力を養う。

【授業内容・スケジュール】

1. 看護管理の課題を明確化する
(事前課題で取り上げた学生の看護管理問題について討議し課題を明確化する)
2. 明確化した課題を事業戦略フレームワークで分析する①演習
(クロス SWOT 分析等の事業戦略フレームワークを学ぶ)
3. 明確化した課題を事業戦略フレームワークで分析する②討議
(クロス SWOT 分析を用い、所属組織の内部環境や外部環境を四要素によって分析する)
4. 看護管理課題の本質に迫る①演習
(プロセスマネジメントやマーケティング理論を学ぶ)
5. 看護管理課題の本質に迫る②討議
(プロセスマネジメントやマーケティング理論によって課題を分析する)
6. 看護管理に関する諸理論の概要
(看護業務や組織運営に関する理論、リスクマネジメント、プロフェッショナルリズム)
7. リーダシップ論①
(リーダーシップとフォロワーシップ、リーダーシップスタイル、変革理論、状況適合理論、コンセプト理論、U 理論、ドラッカーのリーダー論、認知バイアス)
8. リーダシップ論②
(リーダーとマネージャーの役割、業務管理と業務運営、自己のリーダーシップを振り返る)
9. 組織内対人関係を概観する
(ステークホルダー、フォースフィールド分析、パーソナルリスク管理)
10. 組織文化とチームマネジメント
(組織文化、安全文化の醸成、多職種協働とチームマネジメントについての討議)
11. チーム活動としての組織内教育
(経験学習サイクルをチーム内に取り入れるためのリーダーの役割)
12. バランス・スコアカード BSC で看護管理課題解決案を立案する
(BSC の 4 視点で看護管理課題の問題解決案を立案する)
13. ロジカルシンキング再考
(立案した問題解決具体策をロジカルシンキングによって実現可能策とする)
14. あなたはリーダー、それともマネージャーのどちらを志向するか
15. 最終プレゼンテーション
(看護管理課題を解決するため看護管理論の学びをどのように活用するか発表し、

看護の質評価や質改善についての討議を行う)

【評価】

参加態度 (50%) とその都度の課題レポート (20%) とプレゼンテーション (30%) によって行う。

【テキスト】

適宜紹介する。

【推薦参考図書】

小池智子：看護サービス管理、第5版、医学書院、2018

看護管理テキスト、第1～5巻、日本看護協会、2023

C・オットー・シャーマー：U理論 (エッセンシャル版)、英治出版、2019

スティーブン P ロビンズ：組織行動のマネジメント、ダイヤモンド社、2009

開本 浩矢：組織行動論 (ベーシック+)、中央経済社、2019

金井壽宏：経営組織、日経 BP マーケティング、1999

P.F. ドラッカー著 上田惇生編訳：マネジメント (エッセンシャル版)、ダイヤモンド社、2001

ジョン・デューイ：経験と教育 (講談社学術文庫)、講談社、2004

松尾 睦：経験からの学習-プロフェッショナルへの成長プロセス、同文館出版、2006

【その他】